

平成 29 年度市政執行方針（案）要旨

第 1 の重点 石狩の未来を担う子どもを育てる環境の充実

(組織横断的な支援体制の確立)

- ・ 子どもの総合支援と子育て支援の充実を両輪とし、今まで以上に庁内部局の垣根を越え横断的に取り組む。

(子どもの居場所づくり)

- ・ 多様な学びの機会や世代に関わらず複数の人たちとの食事や対話の時間を通じて、子どもが安心と自己実現の機会を得できる居場所を提供する。
- ・ 居場所を通じて、全ての市民が共生できるコミュニティを創造する。
- ・ 所得状況調査結果から、さらなる潜在的な対象者が判明した。対応強化を図り、よりきめ細やかに支援を進める。

(心身ともに健やかな成長を促す取り組み)

- ・ 子ども達の体力向上を推進するため、学校での授業と連携させながら、放課後の体育館などを利用した運動プログラムや食育をNPOと協働で展開する。

- ・ 子ども達が外遊びを通じて健全な体を育むことのできる公園を「あいぽーと」前に開設いたします。

(仕事と子育ての両立を支援する取り組み)

- ・ 「結婚、妊娠から子育てまで切れ目のない支援」をテーマとし、妊娠期前後の施策を補完するため、妊産婦ケア事業や産前の家事支援サポートを実施。
- ・ 妊産婦や子どもの養育相談、保育などのサービス提供までを総合的に行うため専門スタッフを配置し、窓口案内や相談機関との相互連携により、利用者への包括的な支援体制強化に取り組む。
- ・ 放課後児童クラブを新たに2ヶ所増設し、質と量の確保に努める。

(若者世代の経済的負担の軽減)

- ・ 若者・子育て世帯が希望を持ち、安心して生活をスタートすることができるよう、経済的負担の軽減と住環境の確保に努める。

第2の重点 いしかりの成長を促す基盤づくり

(観光を視点とした新たな産業の構築)

・「農業」「水産」「観光」「地場産業」に関する4つの振興計画が改定され、新年度にスタート。

(道の駅を起点としたまちづくり)

- ・仮称あったかあいろーど平成30年春のオープンに向けて準備を進める。
- ・増毛山道は、濃昼山道を観光資源に地域の活性化を進める。

(新港の強みを生かしたまちづくり)

- ・企業ニーズに対応した支援策を講ずるほか、成長著しい石狩湾新港等への投資を継続して実施。

(社会実装に向けた発信)

- ・高温超電導直流送電の、社会実装に向けた国際フォーラムの開催を支援。

(オリンピック合宿誘致・ホストタウン構想の推進)

- ・「ホストタウン構想」の一環として、ソフトボール事前合宿誘致を進める。

第3の重点 誰もが健康的で安心して暮らせる地域社会の実現

(健康寿命の延伸)

- ・「やらなければならない健康づくり」から「やりたくなる健康づくり」、「楽しい健康づくりへ」をスローガンに総合的な施策を展開する。
- ・健康増進のため引き続き各種保健事業を実施するとともに、生活習慣病予防のための特定健康診査や糖尿病性腎症重症化予防事業等を継続して行う。
- ・新たに「量るだけダイエット100日作戦」に取り組む。

(介護予防・日常生活支援総合支援事業)

- ・新年度から新事業が始まる。高齢者が在宅で生活するのに必要な支援を地域で支えていくため、共に考え、共に実践していく生活支援体制づくりを進める。

(手話の推進)

- ・ 今年秋に、手話劇祭が予定されている。手話の文化的な理解をより一層深めるため、本市としても積極的に支援する。

(防災・災害対策)

- ・ 防災行政無線の更新や防災備蓄を推進するほか、新たな災害想定に対応した地区防災ガイドの改定を行い、防災意識の向上に努める。

(消費者行政の機能強化)

- ・ 相談体制の充実と消費者に必要な情報収集及び提供し、消費者を消費者事故等による被害から守る拠点として消費生活センターを開設。

(終わりに)

市民ならびに市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、平成 29 年度の市政執行方針といたします。